

## 『第14回 関西がん治療と妊孕性温存の勉強会』のご報告

残暑厳しい中にも、少しずつ秋の訪れを感じられる季節となってまいりました。

2023年8月27日にIVF大阪クリニックで開催しました『第14回 関西がん治療と妊孕性温存の勉強会』のご報告です。

今回は八尾市立病院の乳がん看護認定看護師 渋谷和代さんから『若年性乳がん患者の妊孕性温存治療の看護の実際』について、IVF大阪クリニックの生殖医療相談士 柴崎有美さんから『生殖補助医療による妊孕性温存支援の実際』について講演をしていただきました。また、事前に作成した『乳がん患者の妊孕性温存の意思決定場面』のロールプレイ動画を視聴し、その後グループディスカッションを行いました。

『若年性乳がん患者の妊孕性温存治療の看護の実際』についての講演では、事例を交えた妊孕性温存治療の支援について、またセクシャリティへの支援まで、ポイントや工夫など看護支援について学ぶことができました。『生殖補助医療による妊孕性温存支援の実際』についての講演では、妊孕性温存治療の実際や流れについて、意思決定支援について学ぶ事ができました。

参加者のアンケートでは、講義内容に関して「具体的な事例で勉強になった」「実際に知らなかったのが勉強になった」「セクシャリティについて考えるきっかけになった」「妊孕性治療中の患者の心理の理解やがん治療後に妊娠目的で治療再開された方の悩みを学べた」等の回答をいただきました。

ロールプレイに関して「何が必要か目的別に出してくれたので参考になった」「もっと悩んでいる人のケースをみたい」「個別で話をした経験がなかったのでどんな風に話を進めているのか参考になりました」との結果でした。ロールプレイが実践に有用であり、今後に取り入れたいと考えています。

ディスカッションでは、「他のクリニックのお話やがん側の話を聞く機会になった」「困っている場面についてアドバイスをもらえた」など、実際に参加者が交流することで共有できた情報もありました。また、現場で困っている課題や工夫も話し合わせ、今後の勉強会に取り入れる企画として検討していきたいと思えます。

今回の勉強会も「今後の看護実践の参考になった」と多くの参加者から回答いただき、顔を合わせて交流することで更なる連携に繋がる有意義な時間になりました。

今後も実践につながる勉強会を継続していきたいと思えます。

関西がん治療と妊孕性温存の勉強会  
事務局 下西祥子